

親子聖書日課

[日]ダビデが牧者として起されることは不思議です。それは彼の子孫から、主イエスが生まれたのです。主こそ、失われた人を救い出すことのできる大牧者です。主に養われる羊は幸いです。いつも命の水で平安が与えられるからです。

[月]民が捕囚として連れ去られた時も、「主はそこにおられ」て、エドムの手に陥ることは許しません。主のおられない所はありません。行く手に闇があろうとも、主は約束の地(天国)を用意して下さるので、安心です。もう、一人ではありません。

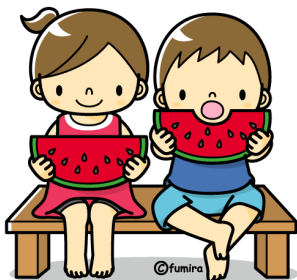
[火]「主なる神はこう言われる」という言葉が何度も出てきます。主の言葉こそ、全てのことを生じさせる根本原因です。御言葉に聴従しましょう。必ず、御言葉が実現します。御言葉に生きる時、主を深く知り、信仰の醍醐味を経験できます。

[水]罪を取り除くために滝に打たれ、清めの水を注ぐことはいりません。ただ主を信じ、バプテスマを受けることです。すると、聖霊が注がれ、「石の心」頑なな心が、「肉の心」愛の心に変えられます。新しい心は、努力(Try)でなく、信頼(Trust)です。

[木]「枯れた骨」が生き返るとは考えられませんが、主が「霊を吹き込む」と生き返るのです。私達も以前は罪に死んだ霊的に枯れた骨でしたが、今は復活の主を信じることによって、生きた骨になりました。「枯れた骨よ、主の言葉を聞け」

[金]国が分裂することによって、同胞が憎しみ争うという悲しい事態が生じました。二本の木(南・北王国)を一本にできるのは、主ご自身です。両者を和解させるために、主は十字架で死んで下さったのです。主を信じる時、一致は実現します。

[土]サタンに操られたゴク(黙20:8)は、反イスラエルの中心人物で、平和に暮らしていた民に突然攻め込みます。私達も救われたからといって、安心してはいけません。サタンは私達の信仰を奪おうと、必死です。御言葉の剣と祈りの盾が必要です。



NO.1448 2016.7/3-9

名前

	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 34:17-31	彼らのために一人の牧者を起して、彼らを牧するのは、誰ですか。	
月	35:1-15	しかし、そこに誰がおられましたか。	
火	36:1-21	主なる神の言葉をどうすべきですか。	
水	36:22-38	私はお前たちにどんな心を与え、新しい霊を置きますか。	
木	37:1-14	主が何を吹き込むと、私たちは生き返りますか。	
金	37:15-28	それらはあなたの手の中でいくつになりますか。	
土	38:1-23	わが民がどのように暮らしている時、ゴクはいきり立ちましたか。	
	感想と祈りの課題		
